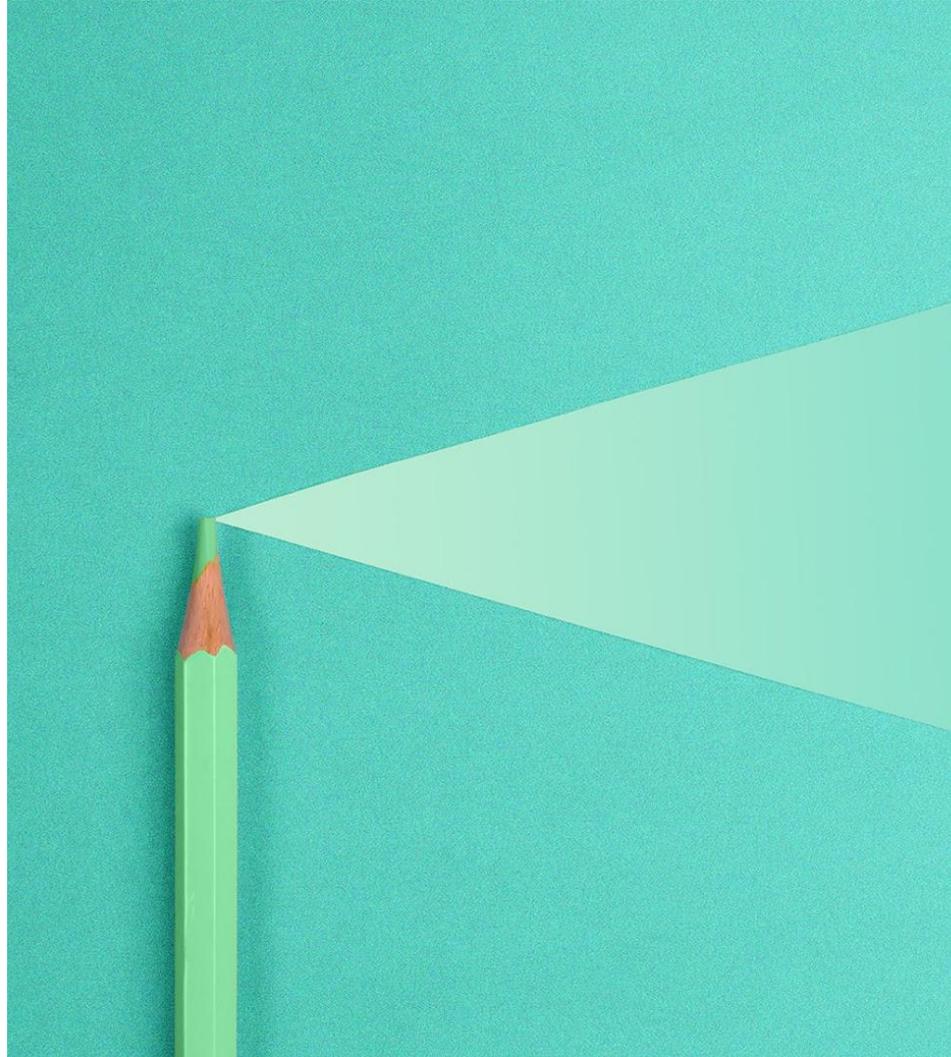


# チームみらい 政策マニフェスト テーマ別解説版 産業編



本資料はチームみらいのマニフェストを政策テーマごとにまとめたものです。概要をまとめた「要約版」、マニフェスト全体をご覧いただける「詳細版」もございますので、ぜひ合わせてご覧ください。

## 要約版



<https://speakerdeck.com/teammirai/timimiraimanihuesuto-yao-yue-ban-v0-dot-2>

20ページほどのスライドでマニフェストの概要  
をご覧いただけるものです

【要約版】



## 詳細版



<https://policy.team-mir.ai/>

AIに質問をしたり、AIとおしゃべりをしながら  
内容提案をしたりすることが可能です

【詳細版】



# マニフェスト テーマ別解説版

# チームみらいの政策の柱

1. 新産業育成による**所得倍増**
2. 日本を世界一の「**子育て先進国**」へ
3. **いびつな税・社会保障制度を未来志向で再構築**
4. 立法の「**見える化**」
5. 「**政治とカネ**」問題に**終止符を打つ**
6. **誰も取りこぼさない社会福祉へ**

# チームみらいのマニフェストを構成する政策テーマ

## 政治と行政

デジタル民主主義

くらしと行政

経済財政

## 生活と社会保障

教育

子育て

医療

福祉

## 技術と産業

科学技術

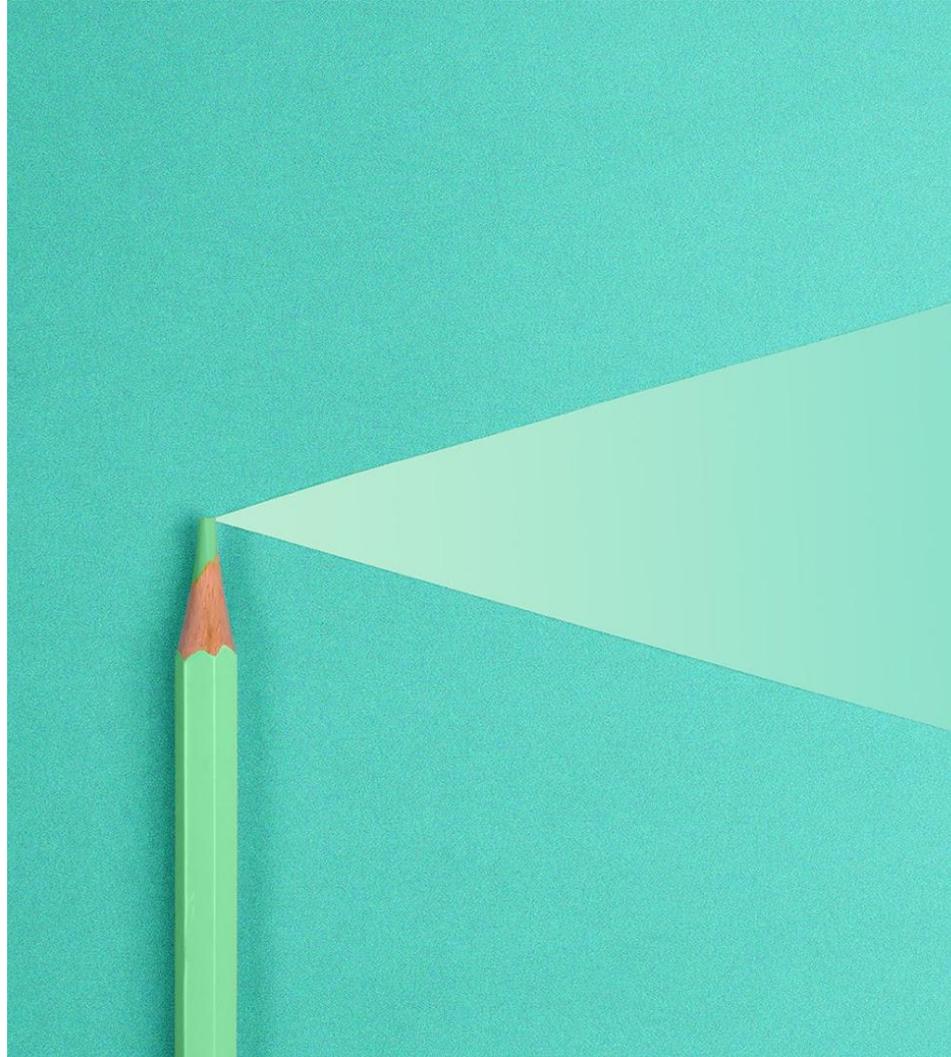
本資料

産業

エネルギー

政策テーマ

# 産業



# チームみらいは、新たな産業の育成を推進します

## 現状認識・課題

- デジタルによる変革の波や脱炭素  
・SDGsへの対応など、日本の産業は大きな転換点に直面しています
- AIの活用は進んでおらず、導入を推進できる人材・基盤の不足が課題です
- 産業育成のための投資やルール形成で世界から出遅れ、日本の強みを国際競争に活かしづらくなっています

## チームみらいは

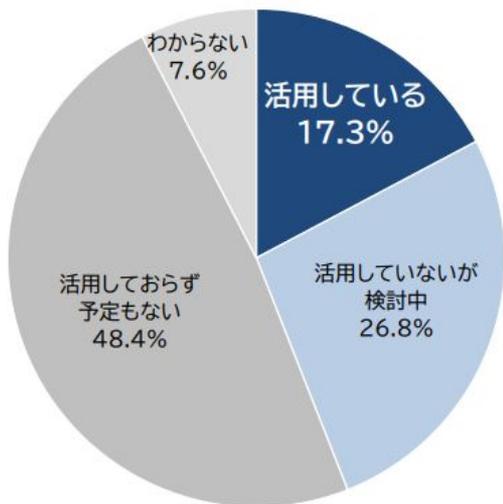
- AIを今後の日本経済の成長のカギを握るものと位置づけ、全産業への導入と効果的な利活用を推進します
- 成長分野への積極投資とリソースの集中により、新たな産業の育成と今後の経済成長の種をまいていきます
- ルール形成や標準化に積極的に関与し日本企業の国際競争力の確保に資するルールの構築を目指します

# 日本で生成AIを業務に活用している企業はまだ限定的で、人材の不足も指摘されている

生成AIを活用する企業は2割にも満たない

さらなるAIの導入や活用を進めるために必要なIT人材・AI人材も不足が指摘される

生成AIの活用状況



約45万人<sup>1</sup>

2030年に不足する  
IT人材の数

約12万人

2030年に不足する  
AI人材の数

AI等を使いこなして新しい産業の  
担い手となる高度IT人材の育成が急務

1. 2019年IT人材需給の試算結果による中位シナリオ（高位シナリオは約79万人）

出典：帝国データバンク「生成AIの活用状況調査」（2024年6月14日～7月5日に実施され、有効回答企業数は4,705社）；経済産業省「IT人材需給に関する調査」（2019年3月発表）

## 「失われた30年」の間に、世界における日本企業の存在感は大きく後退

### 世界時価総額ランキングの上位50に入る企業数の変化

1989年			2025年		
1	日本	32社	1	アメリカ	33社
2	アメリカ	15社	2	中国	5社
3	イギリス	3社	3	スイス	2社
			3	フランス	2社
			5	日本 他	1社

日本からは金融機関や自動車、家電メーカーなどがランクイン

アメリカはGAFAMを筆頭にテック企業が台頭し、中国もテンセントやアリババを含む5社がランクインする中、日本は1社のみと大きく後退している

# チームみらいは、新たな産業の育成を推進します

AI・テクノロジー  
による  
産業の再構築

- 1 AIの導入・利活用の推進と  
リスキリング
- 2 産業支援制度のデジタル化
- 3 最先端テクノロジーの社会実装

産業成長のための  
戦略的な環境整備

- 1 重点分野への選択と集中
- 2 国際標準・ルール形成の強化

# チームみらいは、新たな産業の育成を推進します

AI・テクノロジー  
による  
産業の再構築

- 1 AIの導入・利活用の推進と  
リスキリング
- 2 産業支援制度のデジタル化
- 3 最先端テクノロジーの社会実装

産業成長のための  
戦略的な環境整備

- 1 重点分野への選択と集中
- 2 国際標準・ルール形成の強化

## すべての企業のAIの導入・利活用を推進します

### AI導入に対する 財政・税制上の支援

中小企業を中心に、AI関連投資（設備、ソフト、研修等）を特別償却または税額控除の対象とし、企業がAIを導入する負担を軽減

### AIをはじめとした リスクリング支援

AI関連のリスクリングの支援を推進し、年間100万人規模の支援を目指す

AI・データ以外でも重点分野のリスクリング支援を強化し、特に中小企業の社員を中心的に支援し、産業全体の底上げを図る

### AI導入時の情報管理体制 の構築支援

AI活用に伴って企業が直面するセキュリティ上のリスクへの対応のため、情報管理ガイドラインを策定

セキュリティ対策の実施に対する支援も提供

# AIやITの活用により、便利で効率的な産業支援を実現します

## 現状の課題

多種多様な産業支援制度があるものの、  
情報・窓口が集約されておらず、申請の  
書式も統一されていない

自社に合う制度を見つけられない、申請  
が煩雑で締切に間に合わない、など、  
制度が十分に活用されていない

## チームみらいは

### 支援制度のデジタル一元化

- 政府や自治体、JETRO(日本貿易振興機構)等の制度メニューを集約
- AIが応募企業情報を解析して最適な制度を提案の上、申請書の入力も支援

### 海外展開支援のデジタル化

- AIを活用し、商談リストの作成や国別の規制のチェック、書類の翻訳などを自動でできる仕組みを構築

## 最先端テクノロジーの社会実装により、便利で豊かな生活を実現します

### 最先端テクノロジーの 実証特区の実現

自動運転をはじめとした最先端  
テクノロジーを実際に社会に導入  
していくための特区を設置

住民・企業・行政などが意見を出し  
合うプラットフォームを構築して  
具体的な課題を整理していき、合意  
形成を早める

### 解決型ビジネスの支援

地域が抱える課題を解決する「課題  
解決型ビジネス」を支援する仕組み  
を構築

- 社会課題の例：遠隔地での医療  
提供、単身者の見守り、地域の  
移動手段 等

# チームみらいは、新たな産業の育成を推進します

AI・テクノロジー  
による  
産業の再構築

- 1 AIの導入・利活用の推進と  
リスキリング
- 2 産業支援制度のデジタル化
- 3 最先端テクノロジーの社会実装

産業成長のための  
戦略的な環境整備

- 1 重点分野への選択と集中
- 2 国際標準・ルール形成の強化

産業：政策詳細\_産業成長のための戦略的な環境整備①

## 予算措置や官民ファンドなどの様々な形での産業界への支援を、 より成果に繋がるものにしていきます

### 官民ファンドの整理・ 見直し

重点分野ごとにファンドを  
再編・集約し、世界標準の  
資本規模を確保

投資インパクトをより高め  
国際競争で埋没しない資本  
力を実現

### インテリジェンス・ プラットフォームの構築

市場動向や技術トレンド、  
地政学リスクなどをリアル  
タイムで集積するプラット  
フォームを整備

投資判断の制度やスピード  
の向上を図る

### AI基盤の強化

AIの普及に必要となる計算  
資源の確保に向け、国内の  
データセンター整備をより  
推進

国産LLM(大規模言語モデ  
ルの強化のため、コン  
ソーシアムの組成などの  
支援体制を充実

# 国際標準・ルール形成を後押しすることで、日本の産業の国際競争力を高めます

## 現状の課題

日本は技術力に強みを持ちながらも、国際標準やルールは欧米・中国主導で決まるケースが多い

- ISOやIECなど国際標準化会合での日本人議長数が主要国に比べて少ない
- 専門家派遣も企業の自費任せが多い

## チームみらいは

### 重要分野でのルール形成の推進

- AIの安全性確保やサステナビリティ、生物多様性など国際ルール形成の重要性が高い分野について、産官学横断的な体制を構築

### 標準化研究機関の強化

- 国内の官民標準化機能を統合の上、横断的に戦略検討や資金配分を統括
- 重点分野では国際会議への議長級人材の計画的な派遣を目指す

# AIやデジタルの活用推進を進めた上で、新しい産業の創出に向けて 重点分野への積極投資を推進します

ステップ1

デジタル時代の  
当たり前をやりきる

AI・  
テクノロジーによる  
産業の  
再構築

AIの導入・利活用推進

産業支援制度の  
デジタル化

ステップ2

変化に対応できる、  
しなやかな仕組みづくり

産業成長の  
ための  
戦略的な  
環境整備

ステップ3

長期の成長に  
大胆に投資する

最先端テクノロジーの  
社会実装

重点分野への  
選択と集中

国際標準・ルール形成  
の強化

チーム  
みらい

チー ム  
み ら い

について

テクノロジーで  
政治をかえる。  
あなたと一緒に  
未来をつくる。

チーム  
みらい

**テクノロジーは、**難しい技術のことじゃない。

できなかったことを、できるようにする方法のことだ。

私たちはテクノロジーで、政治の透明化・効率化を実現する。

それは今すぐできる。そしてあなたの生活を着実に改善できる。

**政治は、**限られた人のものじゃない。

本来、私たち一人ひとりの手の中にあるべきものだ。

私たちはテクノロジーで、政治とあなたの距離を近くする。

もっと気軽に参加できる、もっと参加したいものへ変えていく。

**未来は、**理想を語るだけじゃ変えられない。

今をひとつずつ改善することでしか、良くできない。

私たちは自分たちの手で、今すぐできることを今すぐ実行する。

あなたと一緒に一歩一歩、未来は明るいと信じられる国へ。

新党・チームみらい

# テクノロジーで政治と未来を良くすることを目指す新党です

**私たちは、  
手を動かす。**

現場視点で建設的なプランを考え、  
自らの手で素早く実行します。

**私たちは、  
分断を煽らない。**

感情ではなく、データと事実で語ります。  
批判より提案を。分断より解決を。

**私たちは、  
オープンにする。**

意思決定も、お金の流れも、プロセスも。  
透明に、誠実に、信頼とともに歩みます。

**私たちは、  
何事も決めつけない。**

正解はひとつじゃない。多様な声に耳を傾け、  
より良い答えがあれば、柔軟に改善します。

**私たちは、  
誰かをおとしめない。**

他党も政治家も、日本の未来をつくる仲間。  
協力できる箇所を探し、一緒に進みます。

# チームみらいは、パイの再分配だけでなく、成長を目指します

マニフェストでは、3つのステップで成長を目指す政策を掲げています

ステップ1：  
デジタル時代の当たり前をやり切る

デジタルにおける「当たり前」を実行するだけで成果が出る「のびしろ」を発見し、すばやく実行します。

ステップ2：  
変化に対応できる、しなやかな仕組みづくり

硬直的な現在の税制、教育、医療制度を、変化に迅速に対応できるしなやかな制度に再構築します。

ステップ3：  
長期の成長に、大胆に投資する

前ステップで生み出した余剰資金を子育てや新産業創出、科学技術、文化振興に持続的な投資を実行します。



## 党首・安野たかひろ

1990年生まれの34歳

AIエンジニア・起業家・SF作家

2024年、東京都知事選に出馬。15万4638票を獲得。  
東京都の外郭団体「GovTech東京」アドバイザーとして、自治体などのデジタル化を支援。デジタル庁デジタル法制ワーキンググループ構成員。

東京都生まれ。東京大学工学部システム創成学科卒。在学中、AI研究の第一人者、松尾豊氏の研究室に所属し、機械学習を学ぶ。ボストン・コンサルティング・グループを経て、AIスタートアップ2社を起業。

# チームみらいとつながろう



[@anno\\_teammirai](#)



[@安野貴博](#)



[@team\\_mirai\\_jp](#)

ありがとうございました